



Forest Stewardship Council®



FSC®認証のSDGsへの貢献

2019.2.15

FSCジャパン 事務局長

前澤英士





チェックツリーマーク

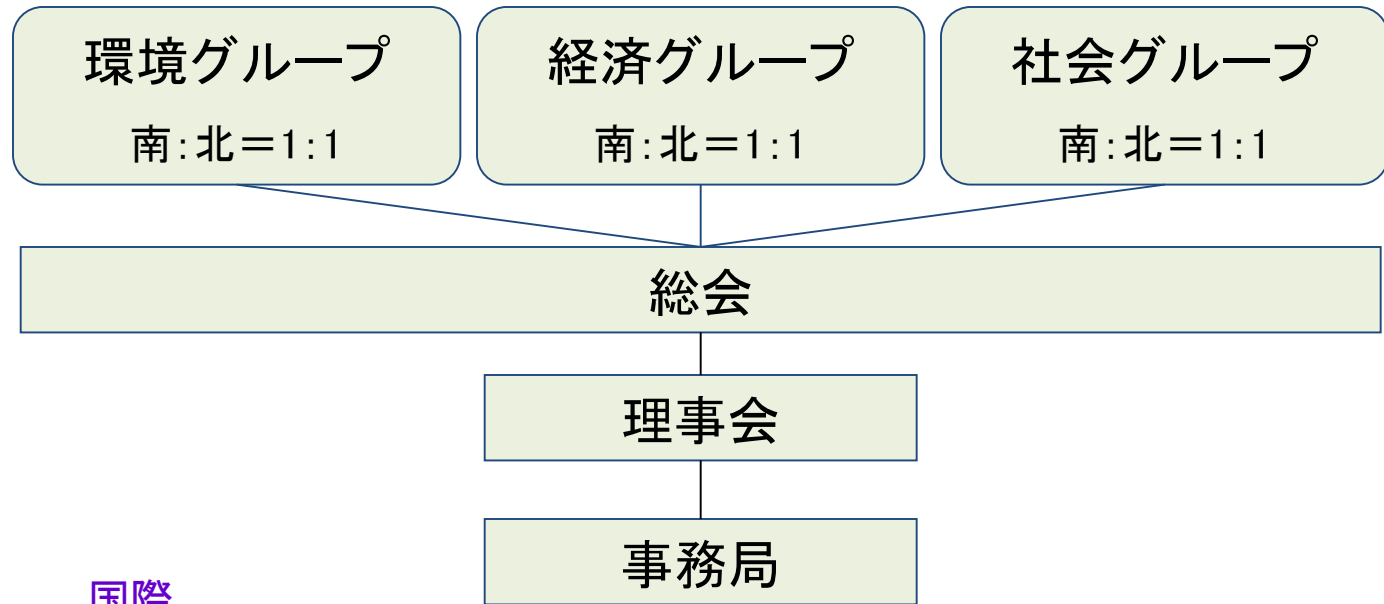
独立した第三者機関が、森林管理をある基準に照らし合わせてそれを満たしているかどうかを評価・認証していく制度を「森林認証制度」と言っています。

FSC (Forest Stewardship Council®、森林管理協議会)は、世界中全ての森を対象とし、ラベリングを伴う形で実際に実施されています。

FSCの使命は、環境保全の点から見ても適切で、社会的な利益にかな
い、経済的に継続可能な森林管理を促進することです。このような森林管理
がなされているかどうかを信頼できるシステムで評価し、適切な管理がなされ
ている森林を認証します。そして、この森林から出された木材・木材製品に、独
自のトレードマークを付けて幅広く消費者に流通させようとするものです。

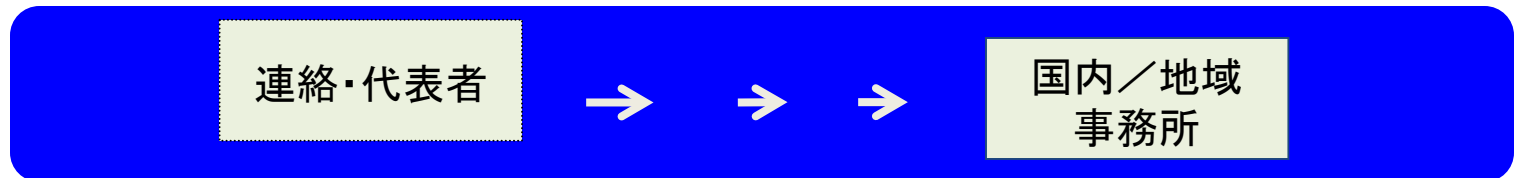
FSCの組織体制・意思決定

(メンバー: 計87カ国、1,000超。 環境27%、経済53%、社会21%)



国際

国内及び地域



持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献するFSC

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



2017年の持続可能な開発目標（SDGs）進捗報告において、進捗状況確認の指標の1つとして「自主的な森林認証を取得している森林の面積増加」が掲げられました。

2015年国連持続可能な開発サミットにおいて、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択。

この宣言では、「我々は、持続可能な開発を、経済、社会及び環境というその三つの側面において、バランスがとれ統合された形で達成することにコミットしている」とうたわれている。

FSCでは、環境・社会・経済のバランスを保つことを、その使命、原則と基準及び具体的な意思決定に既に取り入れている。

＊2030アジェンダ・持続可能な開発目標：

「目標12：持続可能な生産消費形態を確保する」

「目標15：陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する」

それだけでなく、貧困、飢餓、男女平等、安全な水、クリーンなエネルギー、労働環境、気候変動、平和と公平、パートナーシップに関する目標についても達成に貢献すると考えます。

<FSCが貢献する11の目標と35項目のターゲット>

持続可能な開発目標		ターゲット
 目標1.	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる	1.5
 目標2.	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する	2.4
 目標5.	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う	5.5 5.a
 目標6.	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する	6.4 6.5 6.6
 目標7.	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	7.2
 目標8.	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する	8.4 8.5 8.7 8.8
 目標12.	持続可能な生産消費形態を確保する	12.1 12.2 12.5 12.6 12.7 12.8 12.a
 目標13.	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	13.1
 目標15.	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	15.1 15.2 15.3 15.4 15.5 15.7 15.8 15.c
 目標16.	目標16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する	16.3 16.5 16.6 16.7
 目標17.	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	17.1 17.11 17.17

事例①-社会面 FSC認証森林内では社会環境向上

アフリカ・コンゴ盆地のFSC認証森林では:

- すべての労働者に生命保険と健康保険
- 医療施設の充実
- すべての個々の家庭へシャワーとトイレ
(その他の地域では半分も整備されていない)
- 義務教育を超えた教育を受ける機会が認証森林内
では78%
(それ以外の地域では33%)

(FSC, FSC certification leads to better conditions for the people of the Congo Basin, April 2014 / CIFOR, Social impacts of the Forest Stewardship Council certification An assessment in the Congo basin, 2014)

事例②-社会・経済面 ムピンゴ保全開発イニシアチブ(南東タンザニア) (MCDI / Mpingo Conservation & Development Initiative)

- ・ ムピンゴとはスワヒリ語でアフリカン・ブラックウッドを表したもので、この地域では一般的に見られる樹木 (*Dalbergia melanoxylon*)
- ・ ムピンゴの材は特別な楽器を作るために優れた品質を有し、世界的に高額で取引される材のひとつ
- ・ ケニアではムピンゴは既に伐採しつくされたとされ、伐採は禁止
- ・ タンザニアでも、現在横行している違法伐採を止めない限り、20年以内にはケニアと同じ運命をたどると予想される (2004年タンザニア南部での違法伐採70%以上)

⇒地域コミュニティが持続的な森林管理を行うための支援
(FSC森林認証取得を目指す)



© MAEZAWA



© Mpingo Conservation & Development Initiative



The mark of
responsible forestry



**2009年、FSC森林管理認証取得
2011年、世界初のFSC認証木管楽器誕生**

MCDI、11村、計107,963haのFSC認証取得支援

地域社会への貢献

収益:

- 以前は木材の収益は政府⇒5年間で200,000ドル

生活水準・社会基盤:

- 6井戸掘られ水の供給改善
- 6学校建設
- 320着の制服提供
- 看護師と助産師の宿泊施設建設
- 市場に太陽光パネル設置

「MCDIはFSC認証を貧困軽減および森林保全のための革新的な解決策と見る。」

村の天然資源委員会メンバーと

- 以前は腐敗した委員会であったがメンバーを入れ替え、もっとも透明性の高い信頼のおける村へとなった
- 60歳以上の者への健康保険支援
- 学校の改築、食事支援
- ソーラーパネル設置
- ハンター、密猟者による火入れが問題

100%FSC
に満足！

Nainokwe村
人口：約520人
FSC認証林：



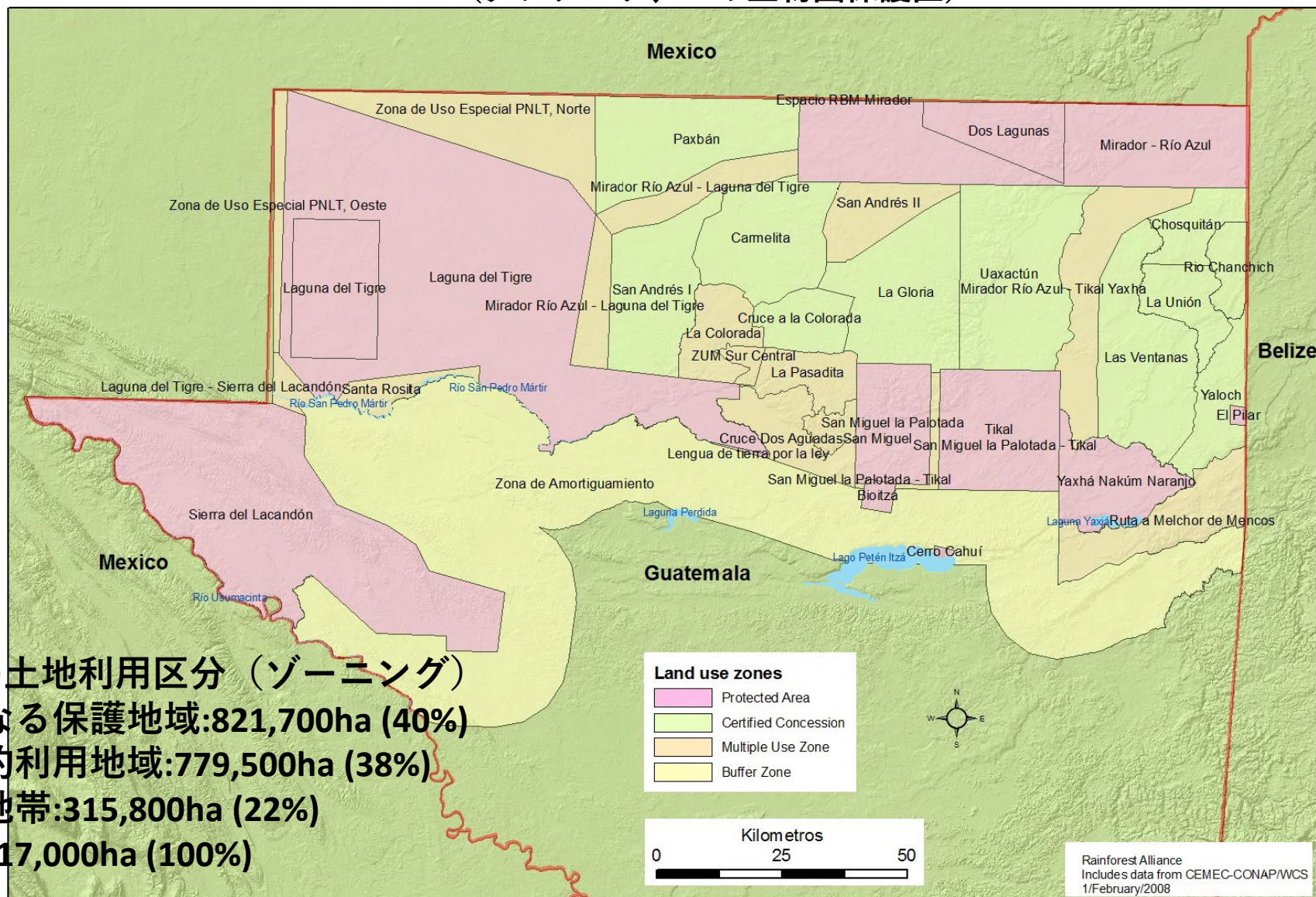
Japan 's Voluntary National Review (自発的国別レビュー)

Report on the implementation of the Sustainable Development Goals

[Case Study] Preparatory Survey on BOP Business for Procurement of FSC certified Wood

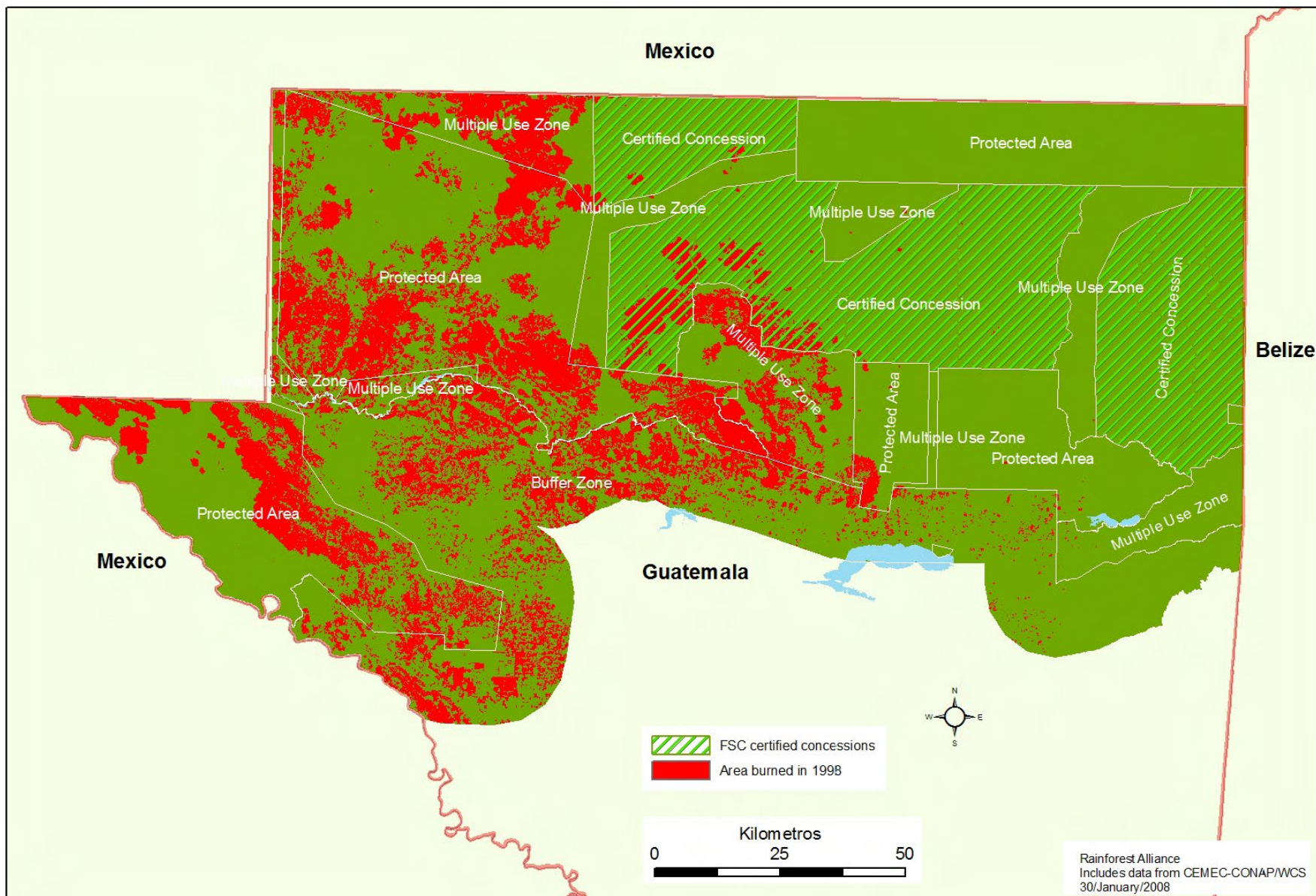
Yamaha Corporation, which globally develops products in a wide range of fields such as acoustic equipment and electronic components, mainly for musical instruments, in cooperation with JICA and local NGOs, has been engaging in tree plantation and sustainable management of forests in Tanzania. It aims for stable and efficient use of forest resources based on their own musical instrument manufacturing technology and sales market so as to ensure sustainable production of African ebony, a major material for musical instruments, and develop sustainable forest dependent community.

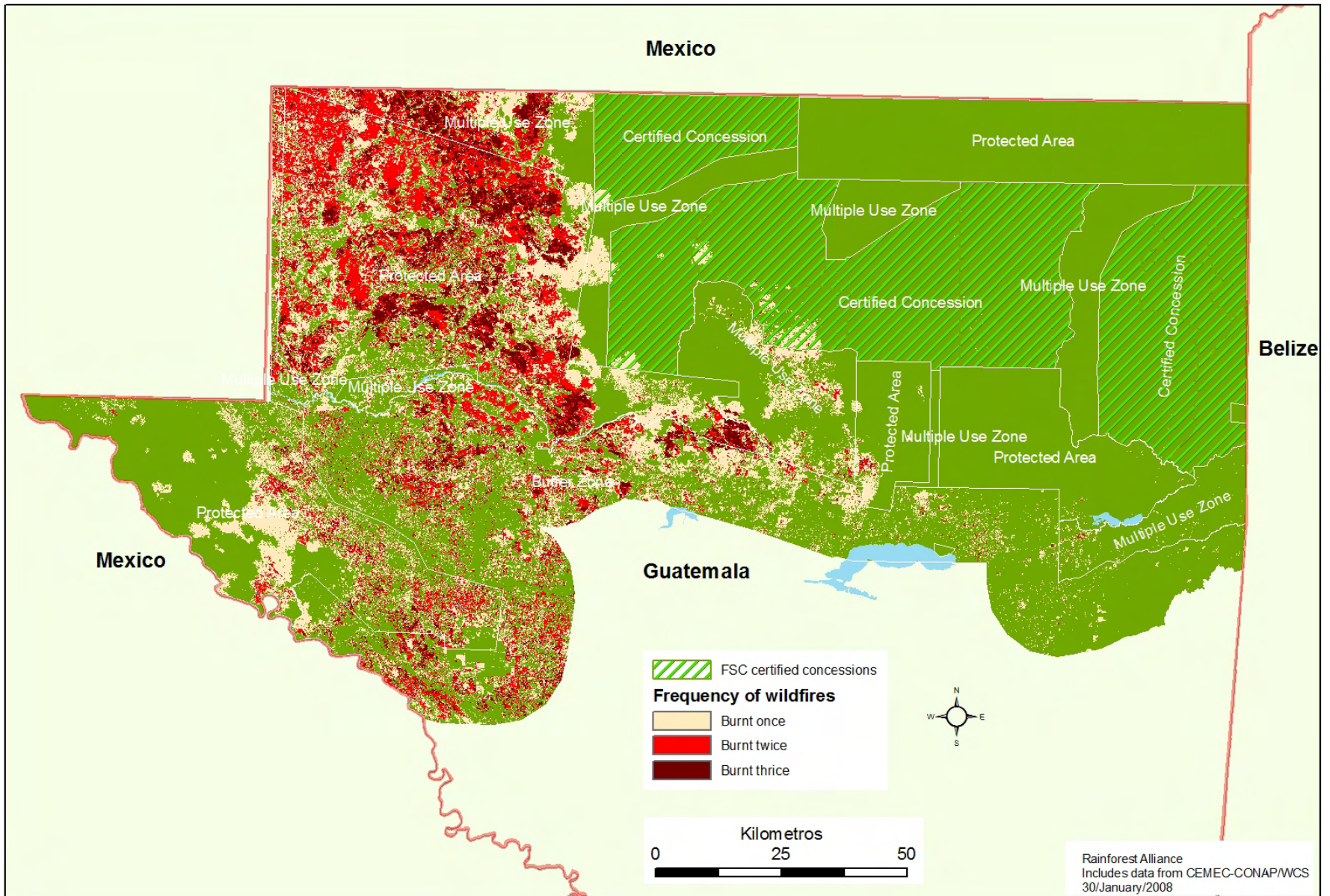
JICAの民間連携事業の一つである「協力準備調査(BOPビジネス)(現:途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査)」において「FSC認証森林からの持続可能な木材調達事業準備調査(BOPビジネス連携促進)」として2016年8月に採択されている。https://www.yamaha.com/ja/csr/environment/sustainable_resource_use/
<https://youtu.be/Edyrm6EPCeg>



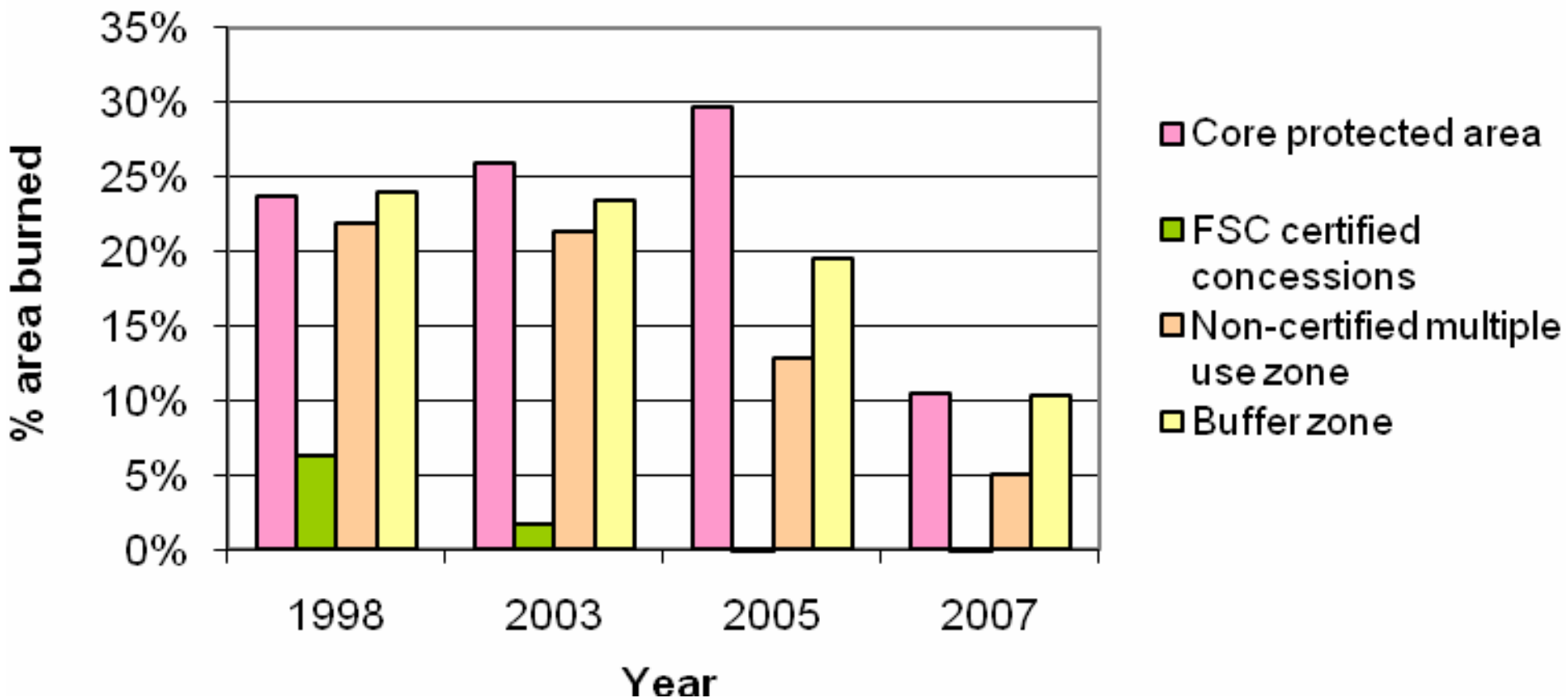
三つの土地利用区分（ゾーニング）
 -核となる保護地域:821,700ha (40%)
 -多目的利用地域:779,500ha (38%)
 -緩衝地帯:315,800ha (22%)
 計: 1,917,000ha (100%)

(火入れ問題)Wildfires - 1998





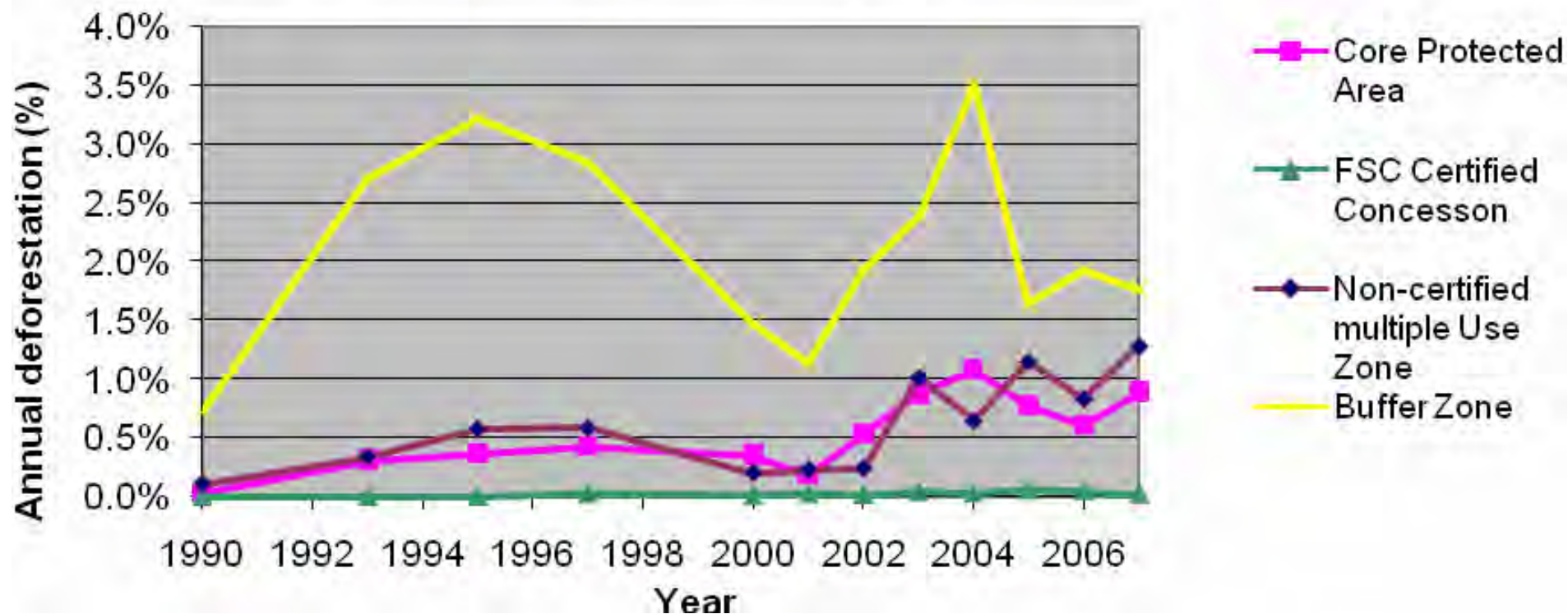
(火入れ問題) Wildfires



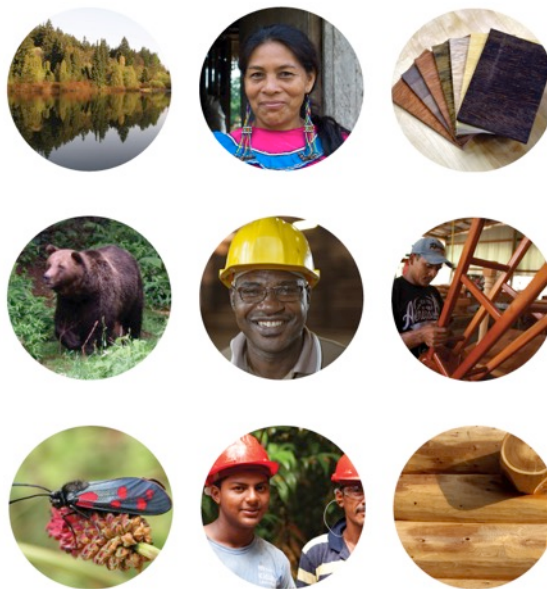
1998 : 6.3% 2003 : 1.8% 2005 : 0.1%
 2007 : 0.1% → 認証森林では火入れが減少。他の地域より圧倒的に少ない。

土地利用区分別の森林減少

Deforestation by Land Use Zone



1986-2007: 0.02% in FSC certified concessions in multiple use zone
 FSC認証森林では年間森林減少率が0.02%と圧倒的に低い。



ありがとうございました。

Forest Stewardship Council®

FSC Japan

FSC® F000218 - FSC® A.C. All rights reserved

<https://jp.fsc.org>

